

平成28年度 第2回 府中市文化財保護審議会議事録

日 時 平成28年7月7日（木）午前10時

場 所 府中駅北第二庁舎 4階会議室

出席者 田中会長、猿渡副会長、坂詰委員、馬場委員、福嶋委員、藤井委員、八木橋委員 以上7名

事務局 江口課長、渡辺補佐、塚原係長、廣瀬事務職員、荻野事務職員

傍聴者 なし

1 報告事項

会長 それでは報告事項（1）から、事務局の説明求めます。

報告事項（1） 川崎平右衛門没後250年記念事業について

事務局 資料1はあくまで現段階での案です。本審議会でご報告させていただいて、ご意見を頂戴したうえで、今後を進めてまいりたいと思っておりますが、資料自体も非公開で、決まった段階で市民の皆様にお知らせして参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、川崎平右衛門がむすぶ全国各地のふるさと交流プロジェクト 川崎平右衛門没後250年記念事業企画書についてご説明いたします
まず「1 開催趣旨および目的」ですが、川崎平右衛門定孝は府中を代表する江戸時代の代官です。様々な治水工事等に尽力された方です。その業績により幕府代官として美濃または石見銀山に赴任いたしまして功績を残されました。明和4年（1767）6月6日に74歳で亡くなりましたので、来年2017年がちょうど没後250年に当たる年となります。

本市では川崎平右衛門の功績を称え将来にそれを伝えるため、府中市史談会初代会長の渡辺紀彦先生の研究があり、それは『代官川崎平右衛門の事績』という本で纏められています。また、渡辺紀彦氏の関係が『府中史談』でも度々取りあげられています。

その後、府中市郷土の森博物館で、ブロンズ像が制作されました。

また、平成21年には、大田市・瑞穂市にご協力いただいて、郷土の森博物館で特別展「川崎平右衛門ー時代が求めた才覚の人ー」が開催され、ブックレットが刊行されました。

その後、川崎平右衛門の講演会が大田市のご協力で開催され、毎年法要をおこなっている岐阜県の瑞穂市の川崎治水翁顕彰会の皆様が、野口忠直前市長さ

んの声掛けもありまして、府中市に來訪され、府中市史談会との交流会が開催されました。

大事なことは、このような様々な研究成果の蓄積と様々な形での各地との交流を踏まえまして、この度本市では、来年の川崎平右衛門没後250年目を迎えることを記念して、川崎平右衛門ゆかりの自治体に参加を呼び掛けて、川崎平右衛門の事績を顕彰するとともに、その事績を活かしたまちづくりにつなげていくことを目的とした“川崎平右衛門ゆかりのまち交流プロジェクト”を提言するものです。

目的は次のとおりです。

1 このプロジェクトを契機として、川崎平右衛門の功績を広く市民、子どもたちも含めて、伝えていくとともに、市民の郷土意識を高め、誇りと愛着あるまちづくりを推進します。

2 日本各地の川崎平右衛門ゆかりの自治体が、平右衛門つながりによって、行政と市民が協働で交流しあいます。

3 日本各地の川崎平右衛門ゆかりの自治体が、事績を顕彰するとともに、その事績を活かしたまちづくりにつなげていきます。

資料1の2ページをご覧ください。実施事業といたしまして、まず(1)川崎平右衛門サミット・シンポジウムを企画しています。これは、ゆかりの自治体が集まり、サミット共同宣言と各自治体の取り組みのご紹介をしていただくこととしており、開催日は来年5月21日(日)の午後1時開会です。

この日程ですが、6月6日に岐阜県瑞穂市の興禅寺さんで毎年川崎平右衛門の法要が行われておりますので、まずは5月に本市でサミットを行い6月6日の法要につなげていきたいということで設定しています。

内容としては、まず府中市出身で府中観光大使でもあります平野啓子さんの語り公演を開会式後の最初のイベントとして実施したいと考えております。場所は府中の森芸術劇場の平成の間です。

その後記念講演会を企画しておりますが、講演者は未定ですが川崎平右衛門研究の第一人者に平右衛門にまつわるお話をしていただきたいと思いますと考えております。

記念講演会の後が、シンポジウムで、参加自治体の取り組みの紹介と共同宣言になります。

参加の呼びかけは、自治体では、岐阜県瑞穂市と島根県大田市には既に声掛けて、両市ともに当日首長さんをご出席していただけることになっており、そのほか、武蔵野新田開発の関係で、国分寺市以下に記載した都内各市区と埼玉県鶴ヶ島市の計9市区となり、今後、声掛けを行ってまいります。

それから、(2)川崎平右衛門合唱構成劇「武蔵野の歌が聞こえる」の上演

を企画しています。これは、制作から上演まで全て市民の協働プロジェクトによって実現した合唱構成劇です。これは今年も9月に開催される現代座による市民協働の手作りの合唱構成劇です。

こちらも5月20日（土）と21日（日）に芸術劇場のふるさとホールで実施の予定です。

特に平右衛門の地元の押立の近隣の学校に呼びかけて、この劇をその児童・生徒さんに見ていただきたいと思っております、土曜日の午前と午後の2回に実施していただきます。

日曜日は、サミット前の関係者で午前に1回、一般市民対象で午後に1回の予定です。

資料1の3ページをご覧ください。（3）平野啓子さんの語り公演です。これは、新たに調査・研究していただいて、その成果をこの場で発表していただきたいと考えております。土曜日に一般市民を対象に実施し、（1）でご説明したとおり、翌日のサミットでも実施する予定です。

続きまして、（4）記念ウォークですが、実行委員会を立ち上げて開催する予定です、主催は記念事業実行委員会です。

それから、（5）は江戸東京たてももの園さんからお話をいただいたもので、来年2月7日（火）から5月7日（日）に川崎平右衛門展を開催するというものです。郷土の森博物館が協力しています。これは確定しています。

（6）は小金井桜を博物館内に移植したいという計画です。

（7）は、2018年国際水協会の国際会議の開催に伴い、美術館で玉川上水の展示会を開催する企画です。

（8）は、郷土の森博物館での展示となります。

全体の予算は、平成29年度の事業ですので、これから必要な見積を作成しています。

以上です。

会長 川崎平右衛門ゆかりの他の自治体での動きはどうですか？

事務局 岐阜県の瑞穂市では、興禅寺さんでも法要を来年も実施すると伺っております。

それから、島根県の大田市さんは、来年がちょうど石見銀山が世界遺産登録10周年に当たるということで、この10周年記念事業として様々な取り組みの企画していますので、是非その中に平右衛門さんの企画を入れていきたい、特に行政の連携だけでなく、市民交流という意味でも石見銀山と府中市のつながりを作っていきたいという話をいただきました。

特に、この事業で大事なのは、市民協働という点で、府中市民の中でも特に新住民の方や押立以外にお住まいの方は、なかなか平右衛門さん知らない方がかなり多いのではないかと思っております。例えば、大國魂神社の隋神門の修理や東照宮に修理にも関わっていらっしゃる方なので、府中での平右衛門さんの取り組みを紹介しながら、いかに府中市民の皆さんに知っていただくかを大事にしていくべきかなと。

そういう意味で市民協働という視点をいかに事業に取り入れるかが成功のカギと思っておりますので、その点もいろいろ考えていけないかなと思っております。

以上です。

会長 シンポジウムは21日は平成の間と、もう決まっているのですか。劇はふるさとホール、公演は平成の間かふるさとホールでしょう。どうなっているのかな。

事務局 ふるさとホールで、劇と公演を行います。ふるさとホールとは別にサミットを平成の間で行うとすれば、21日の午前中はふるさとホールで合唱構成劇、午後にサミットと別会場ですから支障はありません。21日の夕方（サミット終了後に）ふるさとホールで合唱構成劇と会場を分ける予定です。

会長 平野啓子さんの語りは舞台装置が非常に重要じゃないの？音響とかはふるさとホールの方が良いのかなと思ったのですが。

事務局 当初は、ふるさとホールのみで音響や照明がきちんとできる条件でと考えていたのですが、逆に平野啓子さんから、ふるさとホールに加えてサミット会場の平成の間でもやりたいという話がありました。かなりの演出が入るものはふるさとホールで、もう一つ簡単な演出でやるパターンがあるので、それであれば平成の間で十分できるでしょうと伺っておりますので、いわば、演出の度合いで分けてやれば問題ないと伺っております。

八木橋委員 ずいぶんとお金が掛かりそうなイベントですが、これは広報の面で考えた時に、例えば文化財ウィークとかの冊子とかに掲載した方が良いのでは、文化財ウィークの時期に合わせた企画にした方が良いのではという気がしたのですが。

事務局 今の八木橋先生のご指摘は非常に重要な事だと思っております。ただし、残念ながら東京文化財ウィークは10月・11月ですので、5月のイベン

トには時期的に合いませんが、広報が必要とご指摘いただいた点については、何かまた機会があるときに、違った形で、出来るだけ広報を検討させていただきます。

会長 小金井桜はどんなものですか。

福島委員 ヤマザクラです。ヤマザクラも花の色がいろいろあるのです。

会長 玉川上水のは小金井桜なのですか。

福島委員 はい。

猿渡委員 ソメイヨシノではないのですか。

福島委員 公園の中はソメイヨシノが多いのですが、玉川上水はヤマザクラが基本です。ただ、調べてみるといろいろな種類があります。オオシマザクラが結構多くて、カスミザクラも結構あります。ヤマザクラが一番多いはずです。

桜守の方たちが樹木医の協力を得て一本々調べた結果は小金井市が持っています。

(植えてから)年数が経っているので、だいぶ弱っている木も多くて、特に戦後道路が出来てからずいぶん悪い環境になった。つまり、道路が出来て根が張れなくなった、片方はケヤキがいっぱい伸びてきて日陰になって覆われてしまっているという問題もありますけれど、基本的に桜並木は維持されているし、小金井の方で、いま少し補植も始められている。

馬場委員 平右衛門の資料の中には、吉野と常陸から移植したというような、リアルタイムではなくて、後から書いた記録があります。

福島委員 吉野桜は基本的にヤマザクラです。ソメイヨシノは染井村で当初はヨシノザクラと命名したのだけど、名前が被るので、「ソメイ」を前に付けたということです。

だから、基本的にヤマザクラが、馬場先生が仰ったように吉野と常陸から来ているという訳です。

昔は、18mの間隔があったのですが、今は、9mになったのです。ですから間に、幕末になって植えたので、9mもあればそれなりに良いとは思いますが、結構密になって来ている。

会長 戦後植えたのではないの？

福島委員 いえ、幕末の代官が、間に植えたという記録があるようです。それは先生の経緯の何かに書いてある。

馬場委員 私は直接小金井のことを扱っていませんが、小金井市で「小金井桜」という分厚い資料集を出している、

八木橋委員 小金井桜が最初に植えられたのはいつ頃ですか。

馬場委員 平右衛門が植えたとあります。

八木橋委員 それが一番最初ですか。

馬場委員 はい。

福島委員 1740年位ですかね。

馬場委員 そうです。吉宗の桜政策みたいなのがあって、飛鳥山とか品川とか、たぶんそれに呼応して、江戸の西側の桜として作っているのではないかと思います。

藤井委員 小金井桜の木は寿命が長い方ですか。

福島委員 長い方ですね。一番長いのは、エドヒガンで、その次ぐらいです。

藤井委員 最初の木が残っているのですか。

福島委員 いえ、それは残ってはいません。その寿命は長くても150年かそこらでしょう。だから何代目かですね。

会長 小金井桜はサクランボというか種子が出来るということですか。

福島委員 はい。できます。ヤマザクラですから。

会長 増やせるのですね。

福島委員 増やそうと思えば増やせます。ヤマザクラですからソメイヨシノとは違いますので。でも、その種子を採って増やしたという感じではないです。ただ、いろいろな色のバリエーションがあるのです。白っぽい個体からピンクっぽい個体までです。ピンクの色が強いのはオオヤマザクラ（の遺伝子）が入っているみたいです。八重でピンクの強いカンザンまで入っています。いろいろな人がいろいろな種類を植えたのですね。

藤井委員 時期は遅いですよね。

福島委員 そうですね。

会長 郷土の森では、みなそれにするの？

福島委員 ソメイヨシノは華々しいですよ。ちょっと毒々しい感じもします。生長は速いけど、寿命も短いので早く駄目になるということもありますね。

会長 ソメイヨシノは弱いのですか。

福島委員 あれは、エドヒガンとオオシマザクラの雑種で、生長が速い分早く駄目になる。ただ、サクラがそれほど寿命が長い木ではないのです。芯が腐ってしまうのです。一番寿命の長いエドヒガンも芯材が腐っても、木は芯は死んでいる組織で周囲が生きていますから、幹が倒れなけば、それまでは生きている。それが早く駄目になるという種類です。植えてから30～40年が最盛期で、それからは衰退の一途です。

ただ、国立のソメイヨシノは100年くらい経っています。周囲をきれいにして踏み付けないとか、いろいろな事で配慮しているので、あれは未だ生きている。管理さえしっかりすれば生きます。芯の腐りで枯れることが多いです。

会長 では、そういうことで、意見をまとめていただけますか。

事務局 はい。

会長 地域愛を謳う組織が有れば良いのですけどね。それを顕彰する会みたいなのは、市民協働の中心は史談会みたいなものですか。

事務局 そうですね。史談会のような組織です。それと地元・押立の縁者のお

墓がある川崎家とか。縁の所でいうと府中市全般になります。

会長 それでは、報告事項（１）についてはこれ位にして、報告事項（２）について、事務局からの説明を求めます。資料２ですね。

報告事項（２） 夏休み発掘ドキ土器体験事業について

事務局 ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み２０１６ですが、こちらにつきましては、例年夏休みに行っておりますイベントです。

昨年までは熊野神社古墳での確認調査に伴なって、発掘体験をやっていたのですが、今年は確認調査も終わりましたので、ふるさと府中歴史館の１階で、学芸員のこだわり展示ということで出土品の展示とパネルの展示ということで行います。

出土品の展示は、この春に白糸台で勾玉が出土いたしましたので、これを中心にこれまでに見つかった勾玉を展示したり、古代人の装飾品を見ていただけたらと考えております。

また、パネル展示については、武蔵国府と国分寺の交通路を中心に古代の交通路について解説パネルを展示いたします。こちらについては、道路の話なので、中々出土品がありませんが、日鋼町でインテリジェントパークを作る際の調査で発掘した墨書土器がありまして、それに「路」と書いてありますので、それを展示するという話でいま進めています。

この他、期間中の土曜・日曜日と８月５日の商工まつりの日と１１日の祝日に子ども向けワークショップを開催し、古銭の拓本やケヤキの若葉を使ったしおりを作るとか、実物の土器に触ってみようとか、そういった体験型の企画を用意しております。

期間は７月２３日（土）～８月３１日（水）です。

以上です。

会長 ８月の５日は何があるの？

事務局 ５日（金）～７日（日）に掛けて大國魂神社境内で、商工まつりが行われます。これは毎年やっているのですが、かなり人出があるイベントです。夏まつりみたいな感じのものです。子供さんが結構来られるので、その期間だけでは３日間連続で体験できるイベントを開くことになりました。

会長 このワークショップというのは、だいたい何人位いつも来るのですか。

事務局 天気とか、周辺の行事などにより影響されるのですが、夏休みなので毎年来てくれる子ども達もいまして、お昼前位から午後3時位までがピークでその時は、会議机を2つ位繋げた作業台にするのですが、そこにいっぱいになる位には集まります。

会長 人数制限はしないのですか。

事務局 しおり作りや拓本は道具や作業スペースも限りがあるので、順番で並んで待っててくださいという対応をしています。だいたい皆さんは、待っている間にデジタル郷土かるたや国府百景のバーチャルツーリングをやってということで時間を過ごしている方が多かいです。

会長 分かりました。では議題のその他に行ってよろしいですか。

事務局 会長、議題の順番では、次の開催日程が先になっておりますが、先に現地視察についてご説明させていただき、それから開催日程を決める順に変更させていただきます。

実は、本日は、JR府中本町駅前の国指定史跡の保存・活用・整備工事についてご説明させていただく予定を組んでいたのですが、これまでの検討協議会の結果を踏まえて、内容の見直しが発生しておりますので、今回は審議にお諮り出来なかったもので、次回にはそちらの審議をさせていただきます。

それと今年度は、掩体壕の保存改修工事・熊野神社古墳の保存・活用・整備等々予定されておりますので、次回はその様な形で審議事項としてお願いしたいと思っておりますので、本日この様な形で開催になってしまったことはお詫びいたします。

それでは、現場視察について簡単に概要をご説明いたします。

最初に行きます清水丘1丁目の現場ですが、資料3のとおりです。今年の3月まで公団の土地でしたが、それが売却され民間の土地になりました。

そこに集合住宅が建つということで、事前の発掘調査を行っております。

古い建物は上屋は既に解体されておまして、基礎が残っている状態です。

その基礎の下に遺構が残っている可能性があるため、基礎をわざわざ残していただいているところです。

発掘調査は、土を外に出す様なことしておりますと、費用的にも、ダンプの出入りによる近所への迷惑の点でも問題がありますので、土を掘って埋めしなからの調査となります。

全体で約2000㎡あるのですが、だいたい1/3ずつ掘っては埋めを繰り返

返して、いま最終の1／3を調査しているところです。

調査がここまで来たので、全体像が見えて7月2日（土）に一般市民向けの現場説明会を開催しました。約200名を超える市民の方が見学に来られました。やはり関心を持っている方が多いと実感しました。

内容としては、奈良・平安時代の竪穴建物を中心に、古墳時代の竪穴建物も見つかっております。出土遺物としては、「作」と書かれている墨書土器や灰釉陶器のほぼ完全に近いものが出土したり、帯に付ける飾りの石等が見つっております。こちらについては現地で見させていただきますので、その時にご説明いたします。

もう一つの現場は、資料3の最後に付いているA4の調査予定箇所と書いてある場所で、こちらは市役所の庁舎建替に伴う発掘調査となります。

この図の斜線の周囲のコの字の部分が現在の市庁舎になります。斜線の部分がこれまで駐車場として使っていた所で、その部分と、更なる西側を用地として取得して、新庁舎を建てる予定です。一部残る住宅もあるのですが、ほぼこのエリアに新しい庁舎が建ちます。現在発掘調査の行える駐車場から6月23日より着手したばかりなので、今日見ていただく所は未だ遺構を検出しきれれておりません。

ちなみにこの調査予定箇所の斜線の北を上にした場合に①-1区と書いてある区画があるのですが、ここを見させていただきます。残りはまた、こちらの残土を場外に出さず、その中で遣り繰りするという掘っては埋める手法で①-1区、次は①-2区という順番に調査します。

本日の見学行程としては、こちら庁舎建替え箇所を見て、市役所の所で解散となります。

先ほど申し上げたとおり、清水が丘の現場の資料につきましては、現地で改めてお配りいたしますので、こちらの資料は鞆に仕舞っていただいで結構です。

以上です。

会長 市役所はどのように壊して建てるの？

事務局 発掘調査が終わった段階から順次、今、発掘調査を行っている現場とその西側も調査が終了したら、1棟目を建てます。その後、隣接している北庁舎から順次壊して行って、東から西の棟を順番に壊して、そこに2棟目の建物を建てるという順に行います。

会長 その間の引越しはどうなるの？

事務局 段階的に壊して建替えてまいりますので、発掘調査の終了した1棟目が完成したのち、そこに本庁舎から引越してまいります。

さらに、本庁舎の解体・発掘調査が終了したのち、2棟目が建築され残りの部所が引越す予定です。

会長 それでは、次の議題の次回開催日程について、候補日を決めます。

今回は平成28年度第3回文化財保護審議会です。日程は10月18日（火）午前10時からを第1候補、10月19日（水）午後2時からを第2候補として、日程を調整することに決まりました。